

「京都マラソン2012」の取組状況について

平成24年3月11日に開催する「京都マラソン2012」の取組状況について、御報告いたします。

1 大会運営について

(1) 参加ランナー数

14,932名

※なお、参加ランナーの地域別、男女別内訳等については、集計中。

(2) スタッフ、ボランティアの状況

約14,500名

(内訳)

市職員	2,300名
消防団員	370名
京都陸上競技協会	1,000名
ガードマン	3,500名
ボランティア	7,500名(団体6,500名,個人1,000名)

(3) 応援大使

ゲストランナー参加や、おこしやす広場におけるトークショー開催など、大会の盛り上げを図るための活動を依頼。

氏名	主な活動(予定)	所属
森脇 健児	トークショー ゲストランナー(フルマラソン)	タレント
千葉 真子	大会広報, トークショー	スポーツコメンテーター
山中 伸弥	ゲストランナー(フルマラソン)	京都大学IPS細胞研究所所長
島袋 勉	ゲストランナー(ペア駅伝)	沖縄の義足ランナー

上記のほかにも、現在、依頼調整中。

(4) 広報計画

ア 大会当日までの主な広報について

- ・市民しんぶん区版(2月15日号)の挟込みを用い、マラソンコース及びフィニッシュエリアの交通規制時間、規制時間中の路線バスの運休及び経路変更

等の運行状況、無料で御利用いただくことのできる駐輪場の案内、無料シャトルタクシーの運行経路等について、市内全戸に周知する。

・市民しんぶん全市版（3月1日号）において、当日の沿道盛り上げやおこしやす広場におけるイベント等大会全般について広報を実施する。

イ 大会当日の広報計画について

・プレスルームの設置

・KBSテレビによるスタートの生中継（8時～9時）

（参考）MBS毎日放送 録画放送

3月20日（祝）午前9時55分～（1時間）

(5) 大会当日の盛り上げ事業

ア コース沿道でランナーにエールを送る「京都マラソン盛り上げ隊」（8箇所、参加団体：大学、高校、民間など29団体）によるイベントの実施

イ 市内商店街による沿道応援、応援セール等の実施

ウ 京都マラソン応援マップ（仮称）の作成及び配布

(6) 京都ならではのおもてなし

ア ビューポイントサイン

コース上から眺望できる五山送り火等のビューポイントに、案内サインを設置する。

イ おこしやす広場

京料理を味わうことのできる飲食ブースや、茶道流派の協力によりお茶を体験していただけるブースなどを設置し、京都の魅力を発信する。

ウ 給食メニュー

コース上の給食所において、生八つ橋等を提供する。

(7) 東日本大震災復興支援の取組

ア 黙とうの実施

スタート前及び地震発生時刻の14時46分に、黙とうを捧げる。

イ 義援金

ランナーからの義援金及び当日の義援金（会場に義援金箱を設置）を合算して被災地に送る。

ウ メッセージゼッケン等の貼布

復興支援メッセージを印字したゼッケン及びワッペンを作成し、ランナーやスタッフ、ボランティアが貼付する。

エ 被災地写真展及び物産展の開催

メイン会場であるみやこめっせにおいて、東北の物産ブースを設け、現地製品の販売促進を図るとともに、震災当時の写真展示を行う。

2 安全対策について

(1) 各種交通対策

ア 走路対策

走路等にスタッフ、ボランティアを的確に配置し、ランナーが安全に走行できるようにする。

イ 緊急車両対策

救急車等がランナー走路を横断する際にランナーを安全にストップさせて緊急車両を通行させる。

ウ 公共交通対策

路線バスの運行を最大限確保する。

エ 広域迂回対策

東西の車両動線を確保するため、中心部に向かう車両を的確に迂回させる。

(2) 交通対策基本案（ブロック別マニュアル）

コース全体をスタート・ゴールも含めて28（仮）ブロックに分け、ブロックごとにマニュアル化した交通対策基本案を作成する。

- ・ 1月下旬～2月上旬 ボランティアリーダー研修
- ・ 2月上旬～2月下旬 京都市職員スタッフ研修

(3) 交通総量抑制対策

大会当日の緊急自動車や公共交通の円滑な運行を確保するためには、交通総量の抑制が最重要課題であり、市民合意を図りながら、大会当日の交通総量の抑制（35%：17万台）に向けて、これまでからあらゆる広報媒体を使った取組を進めてきた。今後、大会当日に向けて、広報の質量を増加させていくこととし、新たに以下の取組を実施する。

ア ごみ収集車及び区役所・支所公用車による音声広報

2月6日～3月10日、環境政策局のごみ収集車（158台）、区役所・支所公用車（23台）により、音声広報を実施。

イ 電柱へのポスター掲出

2月以降、京都駅以北の主要交差点、沿道を中心に約1,200本の電柱にポスター掲出。

ウ 商店街アーケードでの看板等設置

2月以降、商店街（新京極、三条等）のアーケード下に横断幕等を設置。

エ 市バス、地下鉄による広報

- ・ 市バス 2月6日～3月11日、市バス100台の車体に広報幕を掲出。
- ・ 地下鉄 大会直前の2週間に、車内及び全駅構内で音声案内を実施。

オ 公共交通利用促進策

大会当日の交通総量を抑制するうえで、路線バスの運行を最大限確保するとともに、通常自動車を利用されている市民の方に公共交通の利用促進を図っていくために次の取組を実施する。

- ・ 鉄道沿線の自転車駐輪場の無料化

- ・パークアンドライドの実施
- ・市交通局と連携した取組（「エコ・マラソン」、「京都マラソン2012市バス無料乗車券の配布」）
- ・交通規制により路線バスの運行が困難となる地域での、無料シャトルタクシーを運行

カ 沿道住民の合意形成

マラソンコースの直面、コースから第1線・第2線、閉塞地（コースにより交通機関が遮断される地域）の沿道住民の合意形成に努めている。

更に、2月中旬から、コースに直面する住宅及びコースから第1線・第2線の住宅に対し、沿道行政区別の交通規制やコース規制時のバス運行計画等を掲載したチラシにより、2回目の訪問を実施する。

(参考) その他の主な取組

1 市内・市外共通の主な取組

項目	内容	実施時期
1 アンケート	京都マラソン当日のノーマイカーデーへの協力に関し、関係団体・業界団体等を対象に実施	23年9月～12月
2 ポスター	ポスターを市内及び市外各所に掲出	23年6月 ～24年3月
3 チラシ	交通規制等を記載。市内及び市外各所に配架	24年2月～3月
4 キャンペーン	百貨店、大型商業施設、鉄道駅、各区ふれあいまつり等	23年7月 ～24年3月
5 予告看板	市内及び市外約1,700箇所に設置	24年2月～3月
6 横断幕	市内23箇所、近隣市9箇所、高速道路4箇所	23年7月 ～24年3月
7 雑誌等	リビング新聞、東山花灯路フリーマガジン等	～24年3月
8 Facebook	市民及びランナーに大会情報の配信	24年1月～3月

2 市内向けの主な取組

項目	内容	実施時期
1 回覧署名	京都マラソン当日のノーマイカーデーへの協力に関し、京都市民を対象に実施	23年9月～12月
2 市民しんぶん	京都マラソンの開催と自動車使用の自粛を呼びかける記事の掲載	～24年3月
3 市民ニュース	同上	～24年3月
4 シネコンCM	市内のシネコン全3館(全35スクリーン)でCM放映	24年1月～3月
5 テレビCM	シネコンのCMを使用し、KBSテレビで合計264回放映。	24年2月～3月
6 トラフィカ京カード 市バス一日乗車券	広告を掲載	23年11月～ 24年3月

3 市外向けの主な取組

項目	内容	実施時期
1 交通規制予告チラシの配布	近隣市の約4.2万世帯を対象に新聞折込	24年3月上旬
2 他自治体広報紙	「きょうと府民だより」、「きらり☆亀岡」	～24年3月
3 パーク&ライド	市外からの流入車両対策	24年3月11日
4 旅行・観光業界等への依頼	旅行・観光・レンタカー業界等へ、利用者へのマラソンの開催及び交通規制の周知依頼	～24年3月